

令和元年度事業報告書

I 基本方針への対応

基本方針である、森林の中で自然との共生を学び、体験し、様々な形で森林とふれあうライフ・スタイルを創出するフォレスト・エコ・ライフの推進、実践を図り「自然との共生」思想の普及に寄与することを実現するため、公の施設の指定管理者として管理している「ふくしま県民の森」において各種事業の積極的な展開に努めた。

II 令和元年度 財団中長期計画（平成25年度～令和5年度）の推進状況

(1) 森林学習施設区域利用者数等

森林学習施設区域における利用者数は、目標を達成したが、森林館の入館者数は目標どおりであった。また学校・団体利用者数は、目標を下まわった。

ア 森林学習施設区域利用者数

(単位:人)

年 度	区 分	目標値	実 績	達成率(実績/目標値)
平成25年度	計画始期	12,303	12,303	
平成30年度	前年度	16,032	16,032	
令和元年度	当年度	13,300	14,109	106%

注)平成30年度の目標値は、令和元年度の中長期計画の見直しの際、実績値と
している。

イ 森林館の入館者数

(単位:人)

年 度	区 分	目標値	実 績	達成率(実績/目標値)
平成25年度	計画始期	3,313	3,313	
平成30年度	前年度	3,000	4,827	
令和元年度	当年度	3,300	3,343	101%

ウ 学校・団体利用者数

(単位:人)

年 度	区 分	目標値	実 績	達成率(実績/目標値)
平成25年度	計画始期	5,108	5,108	
平成30年度	前年度	4,987	4,987	
令和元年度	当年度	5,230	4,317	83%

注)平成30年度の目標値は、令和元年度の中長期計画の見直しの際、実績値と
している。

(2) オートキャンプ場区域の利用者数等

オートキャンプ場区域の利用者数は、年間を通して順調に推移し前年度より増加し、目標を大きく上回った。日帰り温泉の利用者数は、目標値と同等であった。

ア オートキャンプ場利用者数（料金対象外の幼児を除く）（単位：人）

年 度	区 分	目 標 値	実 績	達成率（実績／目標値）
平成 25 年度	計画始期	25,709	25,709	
平成 30 年度	前 年 度	31,000	36,864	
令和元年度	当 年 度	31,500	40,292	128%

イ 日帰り温泉利用者数（単位：人）

年 度	区 分	目 標 値	実 績	達成率（実績／目標値）
平成 25 年度	計画始期	13,598	13,598	
平成 30 年度	前 年 度	14,000	14,941	
令和元年度	当 年 度	14,200	14,338	101%

Ⅲ 指定管理者としての「ふくしま県民の森」の管理運営状況

ふくしま県民の森の管理に関する基本協定、関係法令等を遵守し、施設の機能が、設置目的に沿った利用が行われるように管理を行った。

利用者が安心して利用できるよう施設を維持し、公平で質の高いサービスを提供するため、財団が持つ企画・運営能力を駆使し、年間を通して利用者が楽しめるよう運営を行い、同時に災害等の危機管理徹底を図った。また、原発事故に伴う放射線量の測定を継続的に実施し、その測定結果を発信した。

加えて、県内外の様々な組織、機関等と連携し、「ふくしま県民の森」の利用者の増加につながる事業を実施するとともに、「ふくしま県民の森」利用者の満足度を高めるように施設整備を行った。

1 オートキャンプ場管理運営事業（公益事業）

事業収入（単位：千円）

年 度	収入金額	備 考（利用者数）
平成 30 年度	91,379	36,864 人
令和 元年度	101,925	40,292 人 前年比 109%

2 県民の森管理受託事業（公益事業）による施設の管理・運営

森林学習施設区域（52.1ha）、オートキャンプ場区域（39.4ha）合計91.5haの「ふくしま県民の森」の施設、環境管理、運営を1年を通して円滑に行った。

（1）施設管理

① 森林学習施設区域

森林館、森林学習館、水道施設、温泉施設、駐車場等を計画的に管理した。

② オートキャンプ場区域

ビジターセンター、サテライトハウス、コテージ、トレーラー等を計画的に管理した。

（2）緑地管理

① 森林学習施設区域

芝生管理や除草、枯損木の除去等を計画的に実施した。

② オートキャンプ場区域

道路法面の下刈り、テントサイト周辺の樹木整理等を計画的に実施した。

3 施設の高規格化、老朽化対策

（1）福島県の財源による対応（県民の森管理受託事業ほか）

・ビジターセンター

ロビー床張り替え、テラス側窓交換、温泉設備修繕、ショップ外壁修繕、ランドリー天井修繕、男子浴室サウナ修繕

・コテージ

スズメバチ駆除、床下隙間塞ぎ工事、防蟻処理

・常設トレーラー

シャワー配管等修繕、床張り替え窓修繕

・テントサイト等

サテライトハウス給湯設備修繕、トイレ修繕、野外テーブル修繕、遊歩道木部修繕

・森林学習施設区域

水道設備・電源設備修繕、遊歩道修繕

・その他

施設管理用機材修繕

（2）財団の財源（オートキャンプ場管理運営事業（公益事業））による対応

・ビジターセンター

エアコン設置、ロールカーテン更新、予約管理システム改修等作業、連絡階段修繕、駐車場ライン整備

- ・ コテージ
 - トイレのウォシュレット設備工事、ロールカーテン更新、浴室のカビとり作業、テラス修繕、スズメバチの駆除、建具等修繕
- ・ 常設トレーラー
 - 窓修繕、リビングテーブル更新、ソファークッションカバー更新、エアコン重点清掃
- ・ テントサイト等
 - 屋外トイレ壁面修繕、サテライトハウス内ゴミブース回収物品更新、テーブル・イス修繕、給湯設備修繕、雨水排水設備修繕
- ・ 森林学習施設区域
 - 遊歩道修繕、電源絶縁改修
- ・ 不動沢駐車場
 - トイレ水源整備

4 利用者の安全確保対策

- ・ 強風、豪雨等の自然災害による被害発生防止対策（巡視、誘導等）
- ・ 大型野生動物（ツキノワグマ、イノシシ）対策のための巡回強化、監視カメラによる観察、森林下層木の伐採
- ・ スズメバチの巣の駆除やアリ駆除等虫対策

IV 「県民の森管理受託事業」以外の受託事業（公益事業）

財団の基本理念に沿った事業を計画通り受託し実行した。

1 福島県農林水産部委託事業

- (1) もりの案内人養成事業
 - もりの案内人養成講座の運營業務
- (2) 森林ボランティアサポート事業
 - 情報誌の発行、各種資料の展示、情報発信
- (3) 森林ボランティアリーダー育成事業
 - ボランティアリーダー育成講座の運営
- (4) 森林文化公開体験事業
 - 森林文化の記録の作成、出前講座による一般への情報提供

2 福島県こども未来局委託事業

- (1) 子ども自然あそび事業
 - 主に未就学児を対象とした外遊びや、自然とのふれあい体験
- (2) 子どもと青年の異世代交流事業
 - 若い世代（県内大学生）の指導力強化のための、自然遊びを通じた子どもとのふれあい活動研修事業

V 自主事業の実施

1 オートキャンプ場関連事業

(1) 物品販売・貸付・カフェ事業（収益事業）

キャンプ場利用者の利便性向上のため、物品販売、貸付、カフェの事業を実施した。カフェは、ロビー改修工事に伴うクローズの影響があり少し減少したが、全体としては前年を上回る実績があった。

事業収入（消費税を含む）

（単位：千円）

年 度	区 分	ショップ売上 (物品販売)	カフェ売上	物 品 貸 付
平成 30 年度	前 年 度	13,479	3,437	3,462
令和元年度	当 年 度	14,436	3,160	3,618

(2) F E L 制度事業（公益事業）

F E L メンバーズ登録の特典に対する理解が深まり、前年度並みの 1,520 名の登録があった。

新規登録及び更新の人数

（単位：人）

年 度	区 分	登 録 者 数	前年からの増加率
平成 30 年度	前 年 度	1,490	
令和元年度	当 年 度	1,520	102%

2 ビジターセンターにおけるサービスの提供

(1) 日帰り温泉の提供（収益事業）

日帰り温泉利用者数（再掲）

（単位：人）

年 度	区 分	実 績	前年からの増加率
平成 30 年度	前 年 度	14,941	
令和元年度	当 年 度	14,338	96%

(2) キッズプレイス提供（ビジターセンター内）

(3) 森林との共生関連図書の自由閲覧（ビジターセンター）

3 環境教育事業（公益事業）

- ・災害対応キャンプ普及の活動を福島大学と連携して実施した。

また、キャンプのための設備（テント等）を更新した。

- ・ F E L 助成金交付事業

NPO 法人 福島県もりの案内人の会に助成金を交付した。

4 福島県の森林再生に向けた取り組み

(1) 福島県が設置した「木質チップボイラー」の適切かつ効果的な運用を確立するため、関係機関と連携して、安定的に利用できる良質な木質チップの確保に努めるとともに、導入を検討する機関の視察受入を行った。

(2) ふくしま森林・山村多面的機能発揮対策協議会事務局事業

林野庁の森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業の福島県窓口業務を行い、森林整備等を実施する県内11の民間団体へ、交付金の交付事務や指導、国や県との調整を行った。

5 植樹緑化事業（公益事業）

サクラ植栽事業（平成26年度まで実施）で植栽したサクラの適切な管理を行うため、除草等の維持管理を行った。

6 講師等派遣事業（講師 遠藤主査）

- ・大玉村からの依頼により小学生に講話を行った。
- ・林野庁主催の親子向けシンポジウムで郡山市と東京都で講師を行った。
- ・もりの案内人養成講座の講師を行った。

7 調査・研究事業

「自然環境基礎調査事業」として、イノシシ・クマの生態調査などを行った。

調査の結果については、キャンプ場利用者にパネル展示などで情報提供するとともに、パネルは、森林館に展示場所を確保し、通年で一般客に向け情報提供している。

8 うつくしま植樹祭への支援

第2回うつくしま植樹祭が県民の森において開催されたことから、開催前の会場準備、開催日のスタッフ派遣、機材の貸し出し、関連イベントの主催などを行った。（開催日 令和元年10月6日（日））

9 地域振興と社会貢献

(1) 地域振興

① 県内観光地等の振興

県内各地の観光地や近隣の観光施設などを、フロントを中心に案内や紹介対応を行った。また、観光団体と連携してライダーの誘客を図った。

② 授産施設支援

ビジターセンター、ショップ等における県内授産施設製品の販売

③ 地場製品の販売促進

農産物を中心とした地元製品の販売、地元食材等の紹介、活用

(2) 社会貢献

① 令和元年度学校教育利用割引

フォレストパークあだたらオートキャンプ場利用者に対する財団独自の割引

・学校教育利用割引率 50%

② 仮設住宅避難者への温泉無料提供

大玉村にある仮設住宅や借上げ住宅に居住する避難者を対象として、8月と1月及び3月を除く毎月1回、フォレストパークあだたら温泉の無料提供を行った。

・利用者数 延べ 106人

③ 台風19号災害被災者への温泉無料提供

・ 延べ 約1,000人